

## 環境方針に基づく活動を開始

市では、ISO14001の仕組みを導入し、下記の通り狭山市環境方針を定め、環境に配慮した活動に取り組んでいます。

### 狭山市環境方針

#### 《基本理念》

狭山市役所は、地球環境の保全を考え、自然と市民が共生できる持続的発展が可能な地域社会を目指して、全職員・全職場が一体となり環境の保全と創造に率先的・継続的に取り組みます。

#### 《基本方針》

##### (1) 環境に配慮した事務・事業の推進

狭山市役所の事務・事業等の地域社会での重要性和それが環境に与える様々な影響を良く認識した上で、環境基本計画に基づく事業を始めとした諸事業において適切な環境への配慮行動の仕組みをつくります。

##### (2) 市庁舎における循環型システムと地球温暖化防止対策の推進

市庁舎において環境保全・改善の仕組みを構築し、その仕組みを継続的に改善することで、汚染の予防に努めます。特に、以下の事項について推進します。

- ①省エネルギー・省資源及びリサイクルを推進し、率先して環境の継続的改善を図ります。
- ②温室効果ガスの排出を抑制することにより、率先して温暖化の問題に取り組めます。

##### (3) 法規制などの遵守

環境関連法令等の遵守はもとより、自ら定めた環境への取組を率先して推進します。

##### (4) 環境目的と目標の設定及び見直し

環境に与える主要な要因を継続的に改善するため、技術的・経済的に可能な範囲で達成すべき目的及び目標を定め、状況に併せて見直しをしていきます。

##### (5) 職員の教育・実践の徹底

基本理念と基本方針を文書化し、全職員に周知するとともに、環境への配慮行動を実践するため、継続的に教育・訓練を行います。

##### (6) 開かれた市政

基本理念と基本方針は、内外に公表し、その情報が入手できるようにします。

2000年1月5日 狭山市長 町田潤一

問い合わせ環境政策課へ内線3671

## 全米さくらの女王と日本さくらの女王が狭山市を訪問しソメイヨシノを記念植樹

5月6日、第53代全米さくらの女王のジュリアン・ダンさんと第18代



日米両国の友情がさらに深まることを願って記念植樹が行われました

日本さくらの女王の安田 蘭さんとともに(財)日本さくらの会一行が狭山市を訪れました。ジュリアンさんは



4月7日に行われた「ワシントン桜まつり・さくらの女王選出大会」にカンザス州代表として出場し、見事女王に選出されました。

一行は、市内の茶園で新茶の手摘みに挑戦。ジュリアンさんは「カンザス州ではトウモロコシを摘んでいたのでとても懐かしい。」と感想を述べました。製茶工場ではお茶が出来たの工程を見学したあと、美しい琴の調べを聞きながら方圓流の野点を楽しみ、桜の花びらを生地に練り込んだ和菓子と初摘みの新茶に、「とてもおいしい。」と感激していました。また、ジュリアンさんは、カンザス州知事から狭山市長にあてられた

「日本から贈られた桜は、今ではアメリカ合衆国の首都を美しく飾る花です。桜が両国の友情のしるしとなり、ますます発展することを願っています。」という内容のメッセージを読み上げました。そして柏原の入間川河川敷で、桜(ソメイヨシノ)の植樹を行い、日米の友好を一層深めました。なお、狭山市から川越市にかけての入間川河川敷には平成7年から桜の植樹が行われており、狭山市分のおよそ6kmの両岸には現在570本の桜が植えられています。